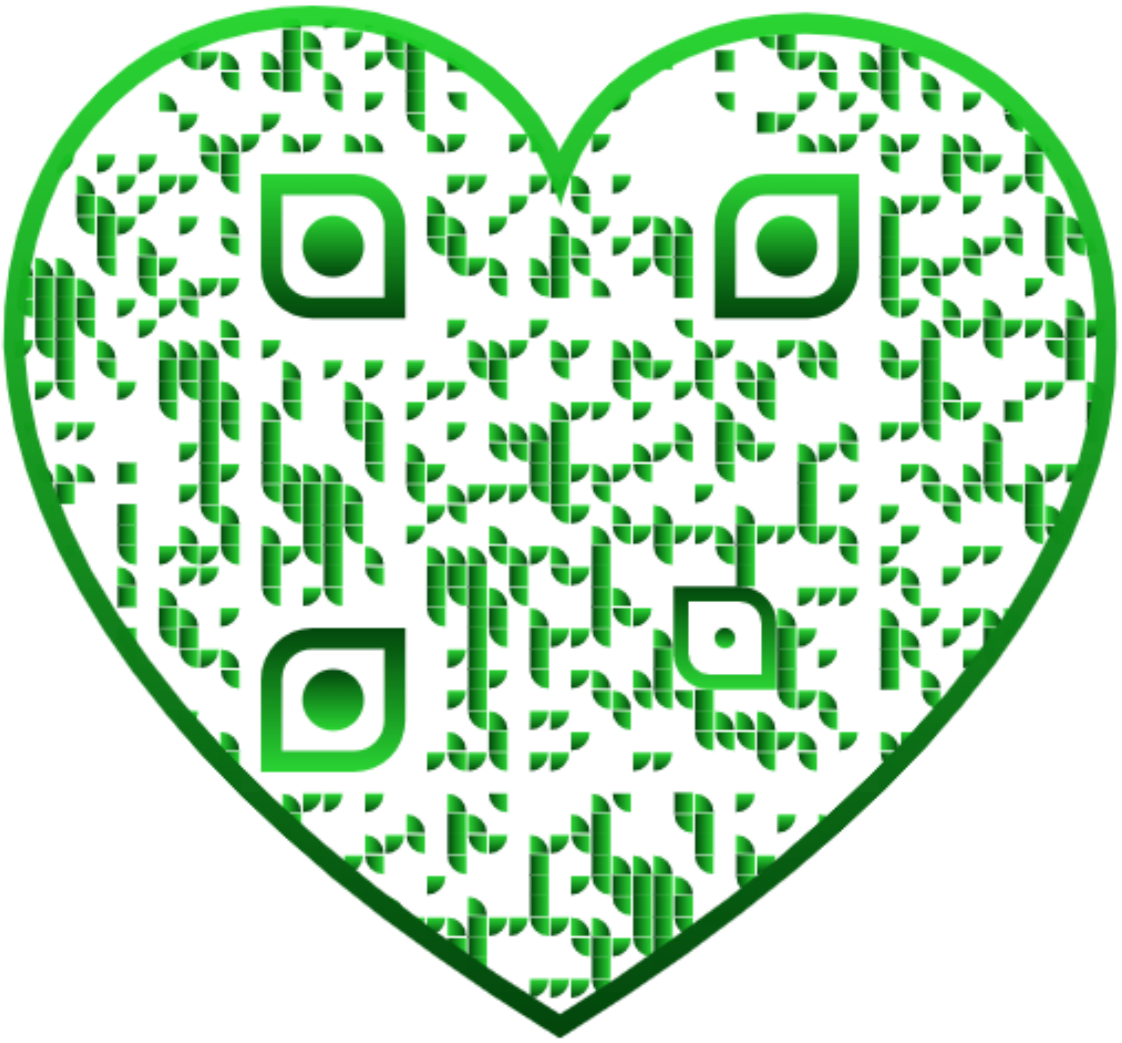
KISS
WORLDWIDE 1995-1996



KISS

AN UDO ARTISTS PRESENTATION 1995
ROCK'N' ROLL PARTY
KISS
ALIVE 1995
1/24 Osaka Castle Hall
大阪公演：1月24日(火) 大阪城ホール 主催/毎日放送, FM802
26 Kyushu Koseinenkin Kaikan
福岡公演：1月26日(木) 九州厚生年金会館 主催/KBC九州朝日放送
28 Nagoya Century Hall
名古屋公演：1月28日(土) センチュリーホール 主催/中部日本放送
30 Tokyo Budokan
東京公演：1月30日(月) 武道館大ホール 主催/フジテレビ 後援/bayfm「パワーロック・トゥディ」
31 Tokyo Budokan
東京公演：1月31日(火) 武道館大ホール 主催/フジテレビ 後援/bayfm「パワーロック・トゥディ」
協力：日本フォノグラム(株) 招聘：ウドー音楽事務所
Printed in Japan
FUJI RVP
RVP-516
RVP-511
D4A
D10
D10A
D11A

KISSは文化そのものである

伊藤 政則
MASA ITO

今年のニュー・アルバムが全盛の年であった。そこには様々な形での"懐かしさ"の表現は、見事に当時のアイデンティティを封じ込めた独創的な音楽に"新しい息吹"を吹き込んだ新鮮さに満ちた大傑作が揃っていた。その中でも、KISSの4枚目のコート・アルバムである「KISS MY ASS」は、特に特異な光を放っていたといえる。参加したミュージシャン達のユニークな顔ぶれも興味深かったが、それ以上にアルバムのアートワークの内容に戦慄を覚えた多くのファン達のKISSの刺青の跡やカムバックを欲しがる声の大合唱で圧倒し、KISSというバンドの存在意義を改めて再認識することになった。ジーン・シモンズは言っている。「KISSは文化そのものである」と。その言葉を思い出しながら、僕は「KISS MY ASS」のアートワークを眺め続けていた。

'70年代にセンセーショナルに登場したKISSは、当時の若者にとってロックンロールという音楽の花園の扉を開けるための"踏み絵"の様な存在だった。当時、KISS、AEROSMITH、QUEENが入門者の登竜門的バンドだったが、特にKISSの場合は宇宙服をモチーフにした斬新なメイクという、奇抜な衣装という、異色のバンドとして若者の前に立ち現れ、ロックという音楽の持つ魅力を極てデフォルメした発想が、他のバンドの追従を許さぬエネルギーを作り出していたのである。KISSの前にKISSなし、KISSの後にKISSなし。この特別的な存在感はデビューから20年が経過した今でも何ら変わっていない。つまり、ジーン・シモンズが言うように、KISSはロックンロールという音楽の概念を超越した空間にKISSとしての文化を構築し、"踏み絵"を通過してロックの世界に足を踏み入れた若者は、そのKISSの文化の中で培養されていくのである。「KISS MY ASS」に参加したミュージシャン達はそのKISSの文化の洗礼を浴びた私生児達であり、KISSの遺伝子を受け継いだ若者達にったのである。そして、KISSを始めロックンロールの扉をこじ開けたファン達の中には、思想を皆って刺青を入れる連中もいた。KISSは明らかに自身のムーヴメントを生み出し、自らがシーンのブラック・ホールとなって世界中のファンをその中心に取り込んでいったのだった。「KISSは文化である」という言葉はあながちも的を射ている。

約1年振りのKISSの来日公演が決まった。'91年11月24日、エリック・カーの死という最大の危機を乗り越え、後任にエリック・シンガーを迎えての新生KISSの初めての日本公演ということになる。メイクという仮面を脱ぎ捨ててからのファンと、あの強烈な思想なアニメの主人公の如き世界観に縛られた初期の時代のファンとの、世代を、時空を超越した感動の共有が今まさに生まれようとしている。

「KISSの音楽は分かりやすい。分かりやすいからダイレクトに彼らのエネルギーを感じ取ることができる。一連の「ALIVE」シリーズでも明らかなように、KISSのライヴ・パフォーマンスはミュージシャンとしてのプロフェッショナルな姿勢を徹底的にたたき込んだ強靭さにみなぎっている。言い方は悪いが、オーディエンスの要求を瞬て読み取った緻かな計算が最大の演出となってステージに炸裂する。しかし、この計算ずくの発想はKISSを語る上で絶対に欠かせない要素であることを忘れてはならない。初期のバンドのイメージや、そのイメージを音楽とは別の次元にも発展させていった手法は、ある意味で緻かな計算の上に成り立った戦略の産物だったし、そのような計算がなければジーン・シモンズの言う"文化"は誕生し得なかったともいえるのである。ステージ上でのファイヤーを吹き、ドラム・ライザーが高く上昇し、紙吹雪が舞うドラマティックな演出の一つひとつが、彼らの計算であり、それ故に観客を飽きさせないテーマ・パークのような壮大な音の感動をファンに与え続けることができたのである。

KISSの魔法が'91年振りに日本に上陸し、シーンを飲み込む熱狂を切り裂くようなロックンロールの雄叫びが、各国の鉄々に新しい生命を吹き込み、圧倒的な感動を吐き出していくことだろう。KISSのライヴ・パフォーマンスを見終った後の疲れるような感覚を大切にしてもらいたい。音楽は娯楽ではない。それは、単純明快なKISSのロックンロールが証明するはずである。"感動"の中に何故KISSが20年間の長きに渡ってシーンのトップに立ち続け、そして、KISSという存在を「文化」のレベルまで高めるようになったのかの答えがある。その答えの中からこのKISSというバンドの偉大なる本質の部分を見い出して欲しい。

21 July 29-August 11

ANG

Deaf or glory

KIS

ZZY!
C/DC!
EART!
RIEST!
OS!
AMSON!
8 SPECIAL!

GENE SIMMONS

PHILIPS

BRUCE KULICK

SUICIDAL TENDENCIES

RAIMUNDOS

PATROCÍNIO EXCLUSIVO

PHILIPS

27 ... PACAEMBU

Informações 255-1391 e 256-0984

PAUL
STANLEY

ERIC SINGER

$4.99

KISS
POPEYE

KISS HISTORY

1972年●4月、ジーン・シモンズとポール・スタンレーがそれまで組んでいたWICKED LESTERを解消し、新バンド結成に向けて始動。「ローリング・ストーン」誌、「ヴィレッジ・ヴォイス」紙に載せたメンバー募集広告によりピーター・クリスとエース・フレーリーがそれぞれ加入し、KISS誕生。

1973年●1月28日、NYの「コヴェントリー・クラブ」でKISSとしてライヴ・デビュー。8月NYのホテル「デイブロマッ」でのショウを観ていたTVプロデューサー、ビル・オーコイン(後にマネージメント会社「ロック・スティディ」を設立)がマネージメント契約を申し出、その直後「カサブランカ」レコードとの契約も成立。同レーベルの第1弾所属アーティストとなる。10月にはNYで第1作の制作を開始。大晦日には「NYの「アカデミー・オブ・ミュージック」でのニューイヤーズ・イヴ・ショウの1つ(はBLUE ÖYSTER CULT)にオープニング・アクトとして出演。

1974年●2月8日、デビュー作「KISS(地獄からの使者)」を発表。3月にはシングル「Kissin Time」をレコーディングし、翌5月、この曲を「KISS」に追加収録し再リリース。8月にはLAにて第2作のレコーディングを開始。プロデューサーには第1作同様、ケニー・カーナー&リッチー・ワイズを起用。10月22日、「HOTTER THAN HELL(地獄のおたけび)」を発表している。

1975年●2月、バンド自身とニール・ボガートのプロデュースによるレコーディング開始。3月19日、第3弾「DRESSED TO KILL(地獄の軍団)」として発表。全米ツアー中、5月16、17日、デトロイト「コボ・ホール」での公演の模様をライヴ録音し、9月18日、「ALIVE!(地獄の狂獣)」なる2枚組ライヴ・アルバムとして発表。全米では予約のみで40万枚を突破し、年明けにはプラチナムに。シングル・カットされた"Rock And Roll All Nite"のライヴ・ヴァージョンは全米チャートで最高12位をマーク。12月31日、NY「ナッソーコロシアム」での大晦日コンサートにはゲストで登場。前座はMOTT THE HOOPLE他。

1976年●3月15日、ボブ・エズリンのプロデュースによる「DESTROYER(地獄の軍団)」を発表。5月からは初の欧州ツアーを2週間にわたって行ない、その後1月には2ヵ月半の全米ツアー。7月21日、初期の3作をセットにした「THE ORIGINALS(地獄の全軍)」を限定発売開始。9月に入るとNYでジャック・ダグラスのもとレコーディング開始。「ROCK AND ROLL OVER(地獄のロック・ファイアー)」と題され11月に発表されている。

1977年●2月、NYの「マディソン・スクエア・ガーデン」で初公演。3月には初来日し、4回の武道館公演(のべ4万6,000人を動員し、THE BEATLESの記録を更新)を含む11回の公演が行なわれ、5月には4年目にしてNHKの「ヤング・ミュージック・ショウ」で紹介されている。同じ頃、バンドはエディ・クレイマーのプロデュースのもとアルバム制作開始。「LOVE GUN」と題されたこの作品は予約のみで100万枚を越え、発売を待たずしてプラチナムに。6月に発売され全米チャートでは最高4位を記録した。7月には約半年にもおよぶ全米ツアーを開始。そのうち8月のしんじゅく公演の模様がライヴ録音され、10月下旬に2枚組ライヴ・アルバム(うち1面のみスタジオ録音)「ALIVE II」として発表されている。

1978年●1月、2度目の来日、5回の武道館公演を行ない自らの動員記録を更新するが、その翌2年間のステージ活動停止を宣言。4月15日、リミックス・ヴァージョン等により構成された2枚組ベストアルバム「DOUBLE PLATINUM」をリリース。5月には各メンバー揃ってソロ作を発表。

1979年●ウィニー・ボンシアと共に3月にアルバム制作開始。「DYNASTY(地獄からの脱出)」と題され5月20日に発表。6月11日には全米ツアーを開始し、"51日間連続ソールド・アウト"という記録を樹立。アルバム自体もツアー開始直後にプラチナムに。

1980年●1月、ピーター・クリスがバンドを脱退。しかしその事実は5月にアルバム「UNMASKED(仮面の正体)」が発表されるまで公表されず。レコーディングにはセッション・ドラマーのアントン・フィグが参加。7月、2代目ドラマーとしてエリック・カーが加入し、同月20日、NYの「パラディアム」で新生KISSとしての初ライヴを行なう。

1981年●11月、ボブ・エズリンのプロデュースによるKISS初のコンセプト・アルバム「THE ELDER」を発表。KISSらしからぬ作品として波紋を呼ぶ。

1982年●3月、エースが事実上脱退し、4月にはギタリストのオーディションを開始。5月、新曲、新ヴァージョンなどを含むベスト盤「KISS KILLERS」を日本と欧州で発表。同時期、ビル・オーコインのマネージメントを離れている。10月、「CREATURES OF THE NIGHT」発表。当時のアルバム・カヴァーにはエースの顔も描かれていたが、実際に文字の上でプレイしていたのは、その後12月よりサポート・メンバーとしてツアーに同行することになるヴィニー・ヴィンセントだった。

1983年●4月下旬、マイケル・ジェイムズ・ジャクソンと共にスタジオ入り。6月には来年ツアーを行ない4回の公演で25万人を動員。事実上、これがメイク時代のKISSの最後のツアーに。8月、エース脱退が正式に伝えられ、後任としてヴィニーが正式加入。9月18日、NTVのスペシャル・プログラムに4人揃ってノー・メイクで出演し、生演奏で活動することを発表。続いて9月30日、新顔の写真をジャケットに用いた「LICK IT UP」を発表。

1984年●5月、ヴィニー脱退。6月のマーク・セント・ジョン加入を経て9月17日、「ANIMALIZE」を発表。しかし同月末から欧州ツアーを開始するものの、マークが急病のため途中で強制せざるを得なくなり、代役としてブルース・キューリックを起用。12月にはそのまま正式メンバーとして迎えられている。この年のツアーの模様は「ANIMALIZE LIVE UNCENSORED」と題しホーム・ビデオでもリリースされ、ベストセラーとなった。

1985年●5月、ブルースを含むラインナップでレコーディング開始。「ASYLUM」と題された9月中旬にリリースされた。11月に開始されたツアーは翌年4月まで続き、8年ぶりのNY「マディソン」公演(12月)も実現した。ジーンは映画「NEVER TOO YOUNG TO DIE」、TVシリーズの「THE HITCH HIKER」に出演し、前年に撮られた「生命冒険」はこの年の7月、日本でも公開された。

1986年●ジーン、映画「地獄のロック&ローラー」「ウィンナッ」に出演。またBLACK N'BLUE、EZOのアルバム・プロデュースを手掛ける。ヴィニー率いるVINNIE VINCENT INVASION、マーク率いるWHITE TIGERがアルバム・デビューするがともなかなかヒットせず。KISSはひたすら沈黙に専念。

1987年●売れっ子プロデューサー、ロン・ネヴィソンのスケジュールが空くのを約1年待った末、4月からレコーディングを開始。9月21日に「CRAZY NIGHTS」のタイトルで発表。WHITE LIONらをサポートに従え、11月には全米ツアー開始。5月にはホーム・ビデオ「EXPOSED」を発表している。この年、FREHLEY'S COMETがアルバム・デビュー。

1988年●4月、13年ぶり11回目のジャパン・ツアー。4都市で8公演を行なう。8月には英国での「モンスターズ・オブ・ロック」にスペシャル・ゲストとして出演。またこの年、ジーンが「BMG」傘下にあらたレーベル「SIMMONS」を発足させ、11月には第1弾リリースとなったHOUSE OF LORDSのプロモのため単身来日。新録曲を含むベスト盤「SMASHS, THRASHES & HITS」も発表されている。

1989年●1月21日付けの「ビルボード」誌で全36ページに及ぶKISSデビュー15周年特集が組まれる。2月から3月にかけホールはソロ・クラブ・ツアーを行ない、トラマーにはエリック・シンガーを起用。10月中旬には「HOT IN THE SHADE」が発表され、アメリカでは発売当日のみで50万枚を出荷、KISSにとって20枚目のゴールド・ディスクに輝く。

1990年●5月、テキサス&皮切りに全米ツアー開始。11月まで続けられ、巨大なスフィンクスのステージ・セットが話題に。サポートにはWINGER、SLAUGHTER、LITTLE CAESAR等を起用。7月4日、ホールが交通事故に巻き込まれ、翌日のコネチカット公演がキャンセルされるというアクシデントも。

1991年●6月、エリック・カーのお心臓に異変が見られ、後にそれが悪性のものであると判明し、長期入院を強いられる。8月、映画「BILL & TED'S BOGUS JOURNEY」のサウンドトラック用に録ったARGENTのカヴァー、"God Gave Rock 'N' Roll To You II"のビデオをMTVで初公開。レコーディング参加不能のエリック・カーの代役として、バンドはエリック・シンガーを起用。11月24日、心臓麻痺によりエリック・カー死去、享年41歳。同30日、NYのセント・ジョセフ教会にて葬儀。

1992年●1月、"God Gave Rock 'N' Roll To You II"が英国チャートで4位入り。同時期エリック・シンガーが正式メンバーとなり、4月には新ラインナップ再結成日6かね全米クラブ・ツアー。5月に発表された「REVENGE」は全米チャート初登場で14位を記録し「DYNASTY」以来のトップ10にランク。

1993年●長年発表が公約されていたライヴ・アルバム「ALIVE III」を遂に発表。

1994年●6月、EXTREME、ガールズ・ブルックス等のラテクティブな顔ぶれによるトリビュート盤「KISS MY ASS」が発表される。

1995年●1月、遂に4度目の来日公演実現。春にはメンバー自身の制作によるヒストリー本「KISSTORY」を発行。「REVENGE」に続くアルバムは秋頃までには発表の予定。

増田 勇一
YUICHI MASUDA

KISS DISCOGRAPHY

KISS
1974

HOTTER THAN HELL
1974

DRESSED TO KILL
1975

ALIVE
1975

DESTROYER
1976

ROCK AND ROLL OVER
1976

LOVE GUN
1977

ALIVE II
1977

DOUBLE PLATINUM
1978

KISS / ACE FREHLEY
1978

KISS / PETER CRISS
1978

KISS / PAUL STANLEY
1978

KISS / GENE SIMMONS
1978

THE ORIGINALS II (未発表)
1978

DYNASTY
1979

UNMASKED
1980

Music from "THE ELDER"
1981

KISS KILLERS
1982

CREATURES OF THE NIGHT
1982

LICK IT UP
1983

ANIMALIZE
1984

ASYLUM
1985

CRAZY NIGHTS
1987

CHIKARA (再発)
1988

SMASHES THRASHES AND HITS
1989

HOT IN THE SHADE
1989

REVENGE
1992

ALIVE III
1993

KISS MY ASS
1994

KISS

Japan Australia Tour 1995

PAUL STANLEY : Vocal, Guitar
BRUCE KULICK : Guitar
ERIC SINGER : Drums
GENE SIMMONS : Vocal, Bass

Tour/Production Manager : Tim Rozner
Stage Manager : Rocko Reedy
House Sound Engineer : Toby Francis
Lighting Director/Designer : Dino Derose
Lighting Director/Designer : Bryan Hartley
Guitar Technician-Paul : Mike Rush
Bass Technician-Gene : David Bonilla
Guitar Technician-Bruce : Craig Ohler
Drum Technician : Kenny Barr
Lighting Technician : Richie Stetta
Personal Assistant : David Mathews
Personal Security : Andre Augustine

Visual Concept : William Hames, Inc.
Photography : William Hames
(History Photos From KISS Archive)
Photo Assistant : Micah Smith
Ray Kachatorian
Cover Design : Rachel Gutek For The Action! Group
Design : Tsuyoshi Yamazaki
Yuki Izumida
Coordination : Sony Music Communications Inc.

WORLDWIDE COPYRIGHT ©1995 TOURING KISS

RESERVE YOUR PLACE IN
KISSTORY

LIMITED/NUMBERED 1ST EDITION
PERSONALLY SIGNED BY KISS
- 4½ KILOS PER BOOK
- 440 PAGES FROM THE BAND'S OWN PRIVATE COLLECTION
- HARDCOVER AND BOUND
- 1¼ FT. LONG X 1 FT. WIDE (APPROX.)
- ENCLOSED IN ITS OWN PROTECTIVE CASE
- 30-PAGE COMIC BOOK

INTERNATIONAL COST: $218.95 (INCLUDES SHIP/HANDLE FEE)

TO ORDER OUTSIDE USA CALL: 1-818-884-6164 24 HRS./ 7 DAYS
VISA/MASTERCARD

Or Send Check Or Money Order To:
KISSTORY
P.O. BOX 15097
BEVERLY HILLS, CA 90210

THIS OFFER MADE FOR A LIMITED TIME ONLY! • SHIPMENT EXPECTED JAN.— MAR. 1995
KISSTORY LTD. • 7930 ALABAMA AVE. • CANOGA PARK, CA 91304

KISS自身の手による KISSマニアのための
世界初の超豪華オフィシャル・メモリアル・ブック 予約受付中

KISSTORY~キストリー 超豪華重厚長大歴史的写真集決定版!
ダイレクトメールにて予約受付中!!

縦45cm×横30cm 迫力の全440ページ
重さ4kgの限定保存版 1冊1冊に愛蔵番ナンバー入り
特別価格 1冊19,800円 (税/送料込み)
(ただしお届けは4月下旬~5月の予定です
あらかじめ御了承ください)

送金は、便利な郵便局の郵便振替えで
口座番号 00140-2-98233
加入者名 株式会社シンコー・ミュージック KS
※数に限りがございますのでお早めにお申し込み下さい。
KISSTORY日本総代理店
シンコー・ミュージック営業部 TEL:03-3295-4191